

私は議案第13号野田市愛宕駅前へのホテルの誘致に関する条例の制定について、非常に悩みましたが、意見を付して賛成といたします。愛宕駅前の指定地にホテルを誘致するために減免措置、上下水道料金の助成措置、雇用奨励金の交付措置、建築費の補助交付措置と10年間の合計で土地や家屋の所有の条件によって異なりますが、2億3,600万円から2億7,600万円の税金を投入し、観光をはじめとする経済の活性化、雇用を創出に結びつけようとするホテル誘致優遇を条例化するものです。これまで採算が合わないとし、進出を見送る報告を聞いていた経緯から、近隣に建設されたこの秋にもオープンするホテルとの兼ね合いがどのように戦略を持って誘致するのかを質疑しました。議員研修で知り合った鎌倉市の議員の話でも日帰りの観光客が多く、宿泊に結びつかないという話を聞いた時に、あの鎌倉であっても宿泊施設が難しいのかと溜息をついた記憶があります。今回の優遇措置によって100室を超えるホテルのニーズがあるのか、観光事業に今後さらに戦略をもって取り組んでどれだけの拡大につながるのかは未知数ではありますが、魅力発信事業にこれまで野田市において市民が知らなくても世界的に名の知れた初見先生の忍者道場に足を運ぶ外国からのお弟子さんたちにアプローチするなど、アメリカや諸外国で忍者ブームとなってから随分時間が経っておりますが、市民の方から野田市が初見先生の忍者道場を観光と結びつけないのが不思議でならないと話題にするくらいだったのが今になって、ここにスポットを当てることは遅すぎやしないかとの感があります。武神館以外にも関宿城や清水公園の来場者は多いものの、ホテルに宿泊し日帰りではなく、宿泊して野田市に足を運ぼうとするメニューをどれだけ提供できるのか、正直のところ、厳しいのもあるとは思いますが、宿泊稼働率を上げていただき、税金の投入以上の経済活動や、事業者の公募にどれだけ手が挙がるのか、また、近隣の商店街にどれだけプラスの波及効果があるのか

注視し、賛成といたします。